



おおくらだより

令和7年12月23日

(文責) 北九州市立大蔵小学校

校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童」の育成

本年も大変お世話になりました

今年度からの2学期制により、本日はまだ後期の半ばとなります。そのため、終業式を設けず、放送で全校児童に向けて、4月からこれまでの反省と新年に向けての話を中心にしました。6年生にとっては残りわずかな小学校生活となります。子どもたちには充実した毎日を送るようにと個別に声掛けをしています。子どもたちが中学校生活に向けて希望をもてるよう、ご家庭でもどうぞよろしくお願ひいたします。

平和と命について

先日、研修会にて「平和と命」について、学んできました。アフリカのスーダンでの話が主でした。アフリカでは内戦が終わってホッとする間もなく、また内戦が始まるといったことが繰り返されています。その中で暮らす一人の生の声を聴くことができました。彼は、サッカーを愛する少年で、15年ほど前、北九州市の高校で学ぶ機会を得たそうです。彼は、日本のスポーツ用品店に憧れ、大人になってスーダンで同じようなお店を開いたそうです。壁には、スパイクの陳列棚を置き、床には人工芝をはりました。夢と希望をもつて。しかし、内戦のためにわずかな日数で壊されてしまいます。また、場所をかえて店を開ける、その繰り返しだそうです。彼の話の中で、「日本では『これから』という言葉が多く使われます。スーダンは、内戦ばかりなので、『これから』という言葉を使うことがありません。日本は平和で、安全だから『これから』を使える。自分の国の平和を守ってください。私たちは安全に暮らすことは難しい。」といった言葉がとても印象に残りました。スーダンでは、病気にかかるても、歩いて行ける距離には病院もなく、女子が通える学校もない、といった日本とは全く異なるお話でした。

講師の方が「平和は先人の方々が作って、残してくれたもの。未来を大切にしてください。」と語られました。今の日本では、平和は当たり前のことで。しかし、保っていくのは私たち一人ひとりです。子どもたちにも平和のありがたさを伝え、託していくかなければならないと再確認しました。

～年末年始、お手伝いをさせてください～

「師も走る」といわれる師走。年末年始、お仕事でゆっくりできないご家庭もあるでしょう。忙しい中ですが、どうぞ計画的に子どもたちにお手伝いをさせてください。玄関やお風呂、トイレの掃除、食器洗いなど、子どもたちは一緒にすると喜びます。

お手伝いのあとは、労いの言葉も忘れずにお願いしますね。

では、来年もどうぞよろしくおねがいします。よいお年をお迎えください。